

事業所名

キッズサポートつばさ2

つばさ2支援プログラム

作成日

8年

3月

1日

| | | | |
|--------------------|--|--|--|
| 法人（事業所）理念 | 未来に向かっていく中でどんな逆境にも負けない、優しいしなやかな「つばさ」を育めるあたたかい場 | | |
| 支援方針 | ・いろいろなことにチャレンジして小さな成功体験を積み重ねて自信をつけていく。・小集団での活動を通して楽しみながら社会性や協調性を育む。・個別課題を通して集中力や継続力を身に付けていく。 | | |
| 営業時間 （サービス提供時間） | 平日 学校休校日 | 14時00分 9時30分 | 18時00分 15時30分 分まで |
| | 送迎実施の有無 | あり | 要相談 送迎先：幸田町内（ご家庭、学校） |
| 支 援 内 容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用時の健康観察（検温、聞き取り）、手洗いうがい、連絡帳にて自宅での健康状態の把握、送迎時に学校での健康状態の申し送りを受ける。 ・体調不良時の表現方法の獲得。 ・自分の持ち物管理、教材教具や活動の準備片づけ、身の回りの環境整備を自分から自分でできるように支援。 ・生活リズムや生活習慣、生活スキルの向上（着脱、衣類の着脱、排泄、清潔、時計など）。 ・個々の成長発達に合った支援の取り組み。 ・食に関する指導（食物、調理、おやつ作り、畑で野菜みかん作り、外食体験、食事マナー、偏食など） ・家庭以外での安心して過ごせる場、環境の提供。 | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> ・微細運動・・・つかむ、引っ張る、ひねる、つまむ、はめる、通す、貼る、塗る、こする、切る、描くなど、工作や教材教具を使用し、楽しく習得できるように支援。 ・粗大運動・・・体づくり、姿勢、移動、ジャンプ、ボールなど、楽しい体験を通して取り組めるように支援。 ・レクリエーション時に、姿勢への意識、ラジオ体操、リズム体操、リズムに合わせて動き、こっこ遊び、体ほぐし運動、マット、跳び箱、鉄棒、縄跳び、走・跳運動などを取り入れ、苦手意識なく楽しく活動できるように支援。（保育士、レクリエーションやリトミック等有資格者などが対応にあたる） ・目と手指の協力の確認 ・感覚特性を踏まえて、感覚の偏りに応じた対応、支援。 | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> ・本人に必要な自立課題を自分で取り組み、習得できるように見守り、声かけ、必要に応じてマンツーマン対応を行う。 ・自分のすべき行動が今は何かを、自分で把握し行動できるように、スケジュールなどをわかりやすく提示したり、状況に応じた行動が出来るようになる練習をしていく。 ・様々な行事や活動を通して、興味や関心や知識の枠を広げる。 ・教材教具やプリント教材を使用し、数、形、大小、長短、軽重、文字の読み書き、標示の読み取り、計算、時計など、日常生活に必要なスキルを自主的に楽しく習得できるように工夫。 ・活動や行動ごとに部屋を変えて、気持ちの切り替えや集中力向上を図る。 ・個々の認知特性を理解し、踏まえて、入ってくる情報を処理出来ているかを確認し支援する。 | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して、自分の気持ちと伝えたり、自分で助けや協力が求められる、相手の話を聞く、といった日常生活や社会で必要な自己表現スキルを身につける。 ・プリント教材やゲームなどで楽しく語彙を増やす。 ・必要に応じて、身振りや指さしやサインやジェスチャーなどの非言語、単語や二・三語文などの言語、指示の理解度など、個別のニーズに合わせた対応、本人の伝達手段能力の向上支援。 ・活動や遊びの中で、その場面に必要な（一緒に遊ぼう、入れて、いいよ、貸して、待ってね、交代ね、など）声かけや返事、間の取り方など、正しく出来るように、見守り、必要に応じて橋渡しをしたり、状況に応じた支援。 ・職員対個別、お友達同士、など、コミュニケーションが円滑に、また、幅が広がるように支援。・困りごとを自分で伝えられるように支援。 | |
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> ・安心の基地の役割を果たせるよう支援。 ・場面に応じたロールプレイングゲームやSST（ソーシャルスキルトレーニング）のゲームなど、カードを使用したり、楽しく身につけられるようにする。 ・感情のコントロールの手立てを、その時の状況や本人に合わせた方法で伝えていく。 ・小集団活動を通して、順番、ルール、協力、結果を受け入れる（負けや失敗など）、お友達を認める、といった、お友達や社会で過ごすために必要なスキルを身につける機会をつくる。 ・遊びや活動の中で、思いやりを育み、自分以外の人を認めたり肯定的な安定的な関わりが保てるように支援。 ・集団での役割や自分の責任や達成感などを活動後の片付けや係りの仕事をする機会を通して体得。 ・老人ホームへの慰問や地域の行事への参加や貢献（公園の草取りなど奉仕作業）活動の取り組み。 ・屋外活動を通して、社会でのルールを学ぶ。・困りごとを自分で伝えられるように支援。 | |
| 家族支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに応じた相談支援（つばさ2での支援内容、家庭家族生活、進級や進学や就労など環境の変化、集団生活、家庭で出来る練習の助言 等） ・各関係機関との連携 ・制度に関する相談助言等 | 移行支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、各関係機関への訪問 ・移行先との連携（支援内容、方針等の共有や支援方法の伝達） |
| 地域支援・地域連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関との連携 ・地域での社会貢献 ・地域が開催する会議、研修会等への参加 | 職員の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修（内部・外部）の実施 ・関係資格取得やeラーニング等の助成 |
| 主な行事等 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練、熱中症対策指導、安全（交通・水難）指導、不審者対応指導 ・年間を通した屋内外での季節の行事や工作、レクリエーション、誕生会、リズム、社会見学、体力づくり、発表会、川遊び、公共施設や交通機関でのマナー学習、屋外クラフト体験、老人ホーム慰問 他 ・食に関わる指導（畑作業（野菜、みかん）、栄養指導、クッキング、おやつ作り、外食体験など） | | |